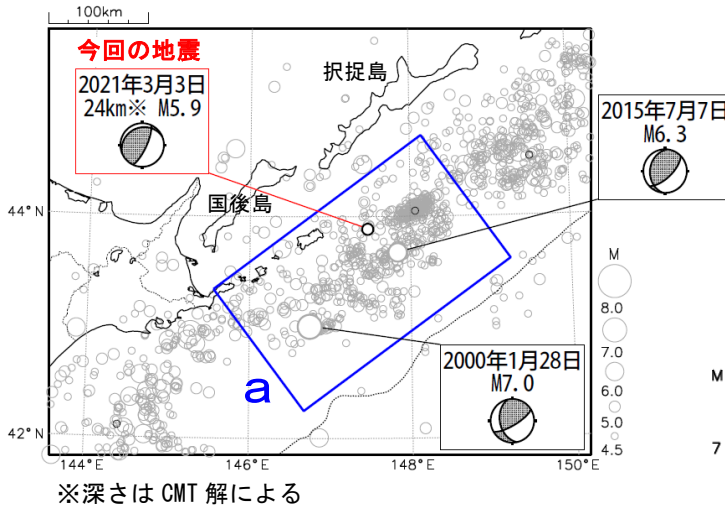


3月3日 北海道東方沖の地震

震央分布図

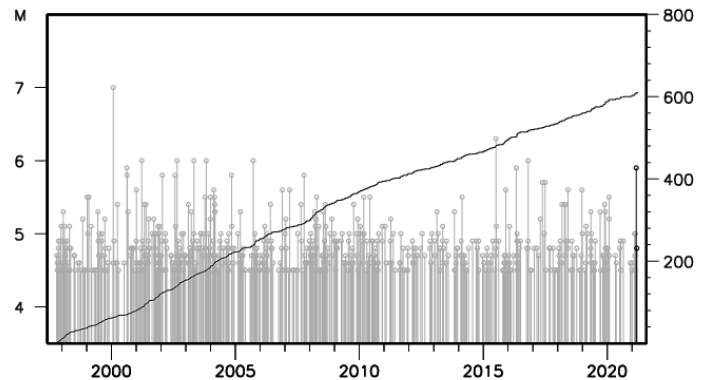
(1997年10月1日～2021年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 4.5$)
2021年3月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



2021年3月3日06時22分に北海道東方沖の深さ24km（CMT解による）でM5.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

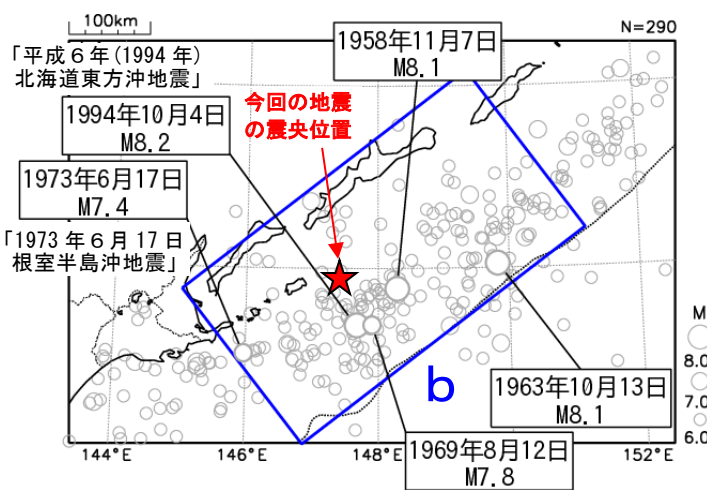
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M5.0以上の地震が度々発生しており、2015年7月7日にはM6.3の地震が発生している。また、2000年1月28日にはM7.0の地震（最大震度4）が発生し、この地震により負傷者2人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1919年1月1日～2021年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M8.0以上の地震が発生し、被害や津波が生じている。このうち、1994年10月4日に発生した「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」（M8.2、最大震度6）では、根室市花咲で168cmの津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測した。この地震により、北海道では負傷者436人、住家被害7,519棟等の被害が生じた（「平成6・7年災害記録（北海道）」による）。

領域b内のM-T図

